

第1回糸魚川市男女共同参画推進委員会会議録

(令和2年度)

日	令和2年9月17日	時間	15:00~16:50	場所	市役所2階会議室
件名	次第 別紙資料のとおり				
出席者	【出席者】 8人(以下敬称略) 水嶋聡、金子浩子、小田島道子、加藤朋子、丸田賢龍、長谷川仁基、 渡邊誠司、室川和代 【欠席者】 2人 岩崎千穂、牧江龍郎 【事務局】 渡邊市民部長、環境生活課 高野課長、蒲原課長補佐、池田主任主事				
	傍聴者定員	5人	傍聴者数	0人	

会議要旨

- 1 開会(15:00)
- 2 市長あいさつ(市民部長 代理)
- 3 委員、事務局紹介
- 4 委員長、副委員長選出
 - ・「事務局に一任」の声あり
 - ・事務局案により、水嶋聡委員を委員長、金子浩子委員を副委員長とすることに決定。
- 5 協議事項
 - (1) 第2次いといがわ男女共同参画プラン事業の進捗について

【主な質疑・意見等】

 (委員)資料No.6のⅡ(2)「女性に対するあらゆる暴力の根絶」について、DVをされたことがある人の割合が、県のアンケート結果33.6%に対し、当市はH27アンケート結果で6.2%と非常に少なくなっているが、その理由はどう推測しているか。
 (事務局)全国でも県と同じくらいの数値が出ている。市が極端に低いのは、DVだと思わない、また、DVだと思っても訴えないといった市民性もあるのではないかと考えている。女性のための相談室を開設しているが、相談者もあまり多くない状況。
 (委員)女性のための相談室を知らない人の割合が63.4%あるということも影響していると考えられるのか。
 (事務局)そう考えている。
 - (2)市民アンケート項目内容協議

【主な質疑・意見等】

 (委員)今までのアンケートの回収率はどのくらいか。
 (事務局)前回、H27年度に実施したアンケートで回収率は45.3%。
 (委員)問18について、4の「被害者のための相談体制・窓口を充実する」、5の「被害者が自立して生活できるように支援する」という部分は具体的ではないので○をつけにくい。深く考えずに、気軽に相談に行けるような場があるということも書いた方がいいのではと思う。

(事務局)窓口があっても敷居が高い、といったこともあると思うので、「気軽に相談できる」など、少し書き方を工夫したい。

(委員)男女平等の意識が低いからDVがおきると思う。時間はかかると思うが、男性も女性も平等だということをもっと世の中で理解し広めていくことが必要。

アンケートではマイナスな面に目が行きがちではあるが、男女平等の意識を作っていく、未来にむかって意識を高くしていくような項目をもっと多く入れた方がいいのではないかと思う。

また、資料No.6のⅡ(3)の目標指標にある「福祉施設から一般就労への移行人数」や「日本語セミナー受講者数」等については、男女差はあまりなく人権に関連していると思うので、男女共同参画の中で目標として重点をおく必要のある項目なのか。

(事務局)この項目は現プランの目標指標となっているので、変更することはできない。

次期計画の素案作成時に、どのような数値目標を設定するか審議いただきたい。

男女平等に関する今後の展開については、問19で今後市が重点をおいて取り組むべき項目について聞いているが、アンケートの中で市民の意見をどう吸い上げるかという点が市としても悩んでいる。市民意識調査なので、どういった項目を盛り込めば今後の計画策定に役立つか、といった視点でもご意見をいただきたい。

(委員)今の、男女平等ということをもっと醸し出すようなアンケートであった方がいいという思いは、啓発を兼ねてということか。

(委員)社会がそういった考えを持っていくのはなかなか難しい。

例えば、問3は固定的な聞き方のままで、昔の価値観をおしつけているような文言で市民啓発にはならないような言葉が使われている。

(委員)「男女共同参画」と「男女平等」がうやむやになっている。

問19で「男女共同参画社会を実現するために、今後市が重点をおいて取り組むべきもの」とあるが、「男女共同参画社会」が具体的に想像しにくい。会社や家庭でどうなれば男女共同参画なのか、ということがわかりにくい。男女共同参画の考え方を市全体に浸透させるのはとても難しいので、「男女平等の考え方を皆さんに考えてもらうための活動」等、もう少し平易にした方が良いのではないかと思う。

(事務局)わかりやすい言葉に修正したい。

問3については、前回のアンケートの問14で同様の質問がある。前回と比較する方法もあるが、国と県が「男性は仕事、女性は家庭を中心とする方が良い」という部分を聞いており、その理由についても調査をしているので、今回設問を少し変更した。

固定観念にとらわれていない考え方についても確認した方がいいということであれば、前回と同様の設問にすることもできる。

(委員)県意識調査ではこの設問の前に「男女が共に参画し、多様な生き方が選択できる社会」について聞いているが、啓発活動にもなる前向きな設間だと思うので、市のアンケートにも取り入れても良いのではないか。そうすれば未来志向の考え方ができるのではないかと思う。

糸魚川市の現状(資料No.5)では、今後生産年齢人口が少なくなっていくと推測されている。例えば、女性が働きやすい職場、魅力的な職場についての質問があると、今後担当課や企業等がどのような部分に力を入れていけば良いか参考にできる。

(事務局)企業の現状について聞かせてほしい。

(委員)自分の企業では男女半々となっているが、建設業では男性社会で女性が少ないということもあり、女性が働きやすい環境を作ってきた。少子高齢化になってくる中で、少子化を止めることができない、数が少ないのに市外に出ていく人が多いのは、市内にどのような会社、職業があって、どのような職場で働けるのかという部分が今の中・高校生が理解できていないのではないかと思う。今回のアンケートは18歳以上だが、次の世代の人のことを考えて、アンケートをとって行動していく必要があると思う。

(委員)未来が開けていくようなアンケートにしてほしい。

(事務局)男女共同参画のアンケートは高校生が答えにくい内容が多いので、対象年齢を下げていない状況。総合計画のアンケートは中学3年生も対象として、今後市をどうしていくことが望ましいかという視点で意見を聞いている。対象年齢を下げて男女共同参画のアンケートで意見を聞くか、別のかたちで高校生に就職の環境整備等に関する意見を聞くか、どちらが良いか。

(委員)その内容は総合計画のアンケートに含まれているのか。

(事務局)総合計画ではそこまで細かい内容は聞いていない。

(委員)大人でも前回の回収率が45.3%なので、18歳以下を対象とするには難しい内容なのではないかと思う。設問については、前回から踏み込んで広げた内容となっているので良いと思う。

(事務局)働きやすい環境についての設問を追加した方が良いという意見であれば、担当課と内容を考えて追加したい。

(委員)県アンケートの間13、14を参考にして、男女がともに働きやすい、働きたい環境についての設問を追記してほしい。

(事務局)了解した。参考までに、女性が働きやすい職場とはどういうものなのかを教えてください。

(委員)建設業しかわからないが、自分の会社で女性が良く言っているのは、「一人だとやはり何をしたらいいのかわからない」ということ。その状態だと男性も一歩引いて接しているが、現在は土木と建築で15名いるので、男性も女性もいるのが当たり前となっている。男性も女性も同じように教えてくれる、注意してくれる、というところが働きやすいのではないかと思う。ハード面については、仮設トイレになるが、昔は和式トイレだったが今は国交省で推奨している洋式トイレになって良くなっている。更衣室もあるし、現場事務所等も小さなオフィスだがエアコン、電話、Wi-Fi環境も整っており、きれいな事務所になっている。ソフト面についても、男女の区別なく接することが多くなっているため、そういったところで働きやすいという話を聞く。

(委員)保育園はどんな状況か。

(委員)家族を大事にしたいという職員が多い。学校行事等で職員の休みが重なる時などは業務に支障が出るが、送り出している。人手が足りなくなった時にどうするかが課題となっている。人材バンク等、代替職員の確保のための情報バンクを市の方で整備してもらえるとありがたい。

(事務局)民営も公営も代替職員の確保が難しくなっている。要望があったことは担当部署にも伝える。またアンケートにも「働きやすい環境」として「年休を取得しやすい」こと

や「施設の整備」等、次回までに内容を検討して項目を追加したい。県と比較するために、概ね同じ内容にしたいと思っている。

(委員)男女共同参画は本当に根深い。生まれたときからの育て方、親の価値観、その家庭の価値観によって変わってくると思う。男の子も女の子も関係なく、同じように何でもさせることが大切。潜在的な意識が変わらないといけないが、このアンケートを通してそれぞれが考える機会になると良いと思う。

また、DVは多くあるが、このような形では出てこない。隣近所や訪問した際、愚痴話を聞く中で初めて出てくるが、DVを受けている人はあまり言わない。やはり風土や市民性があるのだと思う。そういった細かな部分も対応していくことが大切。

(委員)自分の職場は女性が多いのでそれほど環境が悪いとは思っていない。逆に男性が一人いるが、そういった方もいるのでの男女両方の意見をアンケートで聞くことも大切。また、アンケートの回収率の低さを改善したい。自分がこのアンケートを突然もらっても、名前を見ただけで難しく感じて回答する気にならないのではないかと思う。問20の設問がアンケートの終盤にきているが、まず初めに「男女共同参画社会という名称を知っているか」というところからスタートして、その後、他の設問に入っていた方が自然ではないかと思う。

(委員)今まで出た意見を次回までにまとめていただきたい。

(事務局)アンケートの回収率を上げるために、まず用語の解説を先にしてそこから設問に入っていくという方法も検討していきたい。

6 その他

(1)他の委員会等への委員推薦について

下記のとおり男女共同参画推進委員会から参加していただくことを報告

- ・糸魚川市総合計画審議会…水嶋委員長
- ・糸魚川市人権教育・啓発推進計画策定委員会…金子副委員長

(2)第2回委員会の日程について

今回の委員会で出た意見等を調整し、次回委員会で最終案として示したい。

日程については、10月16日(金)15時からで調整することとなった。

7 閉会(16:50)